

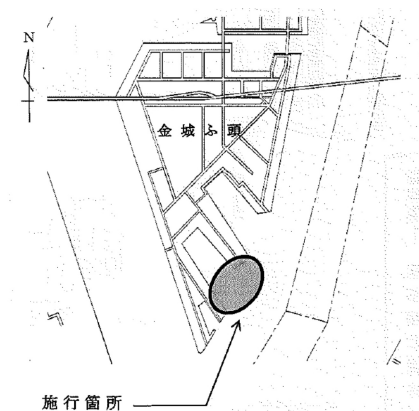
名港管理組合議会11月定例会について

- ・名古屋港管理組合議会11月定例会が11月13日午後1時半から行われました。
- ・当局提案の議案は補正予算2件、工事請負契約1件の3件と追加の決算認定案4件でした。
- ・本会議の質問者は江上博之議員と市議会公明の2人でした。
- ・江上博之議員が「台風による高潮等の被害防止策」「情報センターの活用」について一般質問を行いました。
- ・本会議質問終了後に決算特別委員会の設置と委員選任が行われ、本会議を休憩して常任委員会、決算特別委員会を行い、その後、本会議を再開し採決が行われました。
- ・提案された議案3件はすべて全会一致で可決されました。
- ・決算認定案は閉会中の12月23日の決算特別委員会で審査が行われます。
- ・今議会から議会のホームページが開設され、本会議のインターネット中継は録画として見れるようになりました。

名古屋港管理組合議会 2019年11月定例会 議案一覧

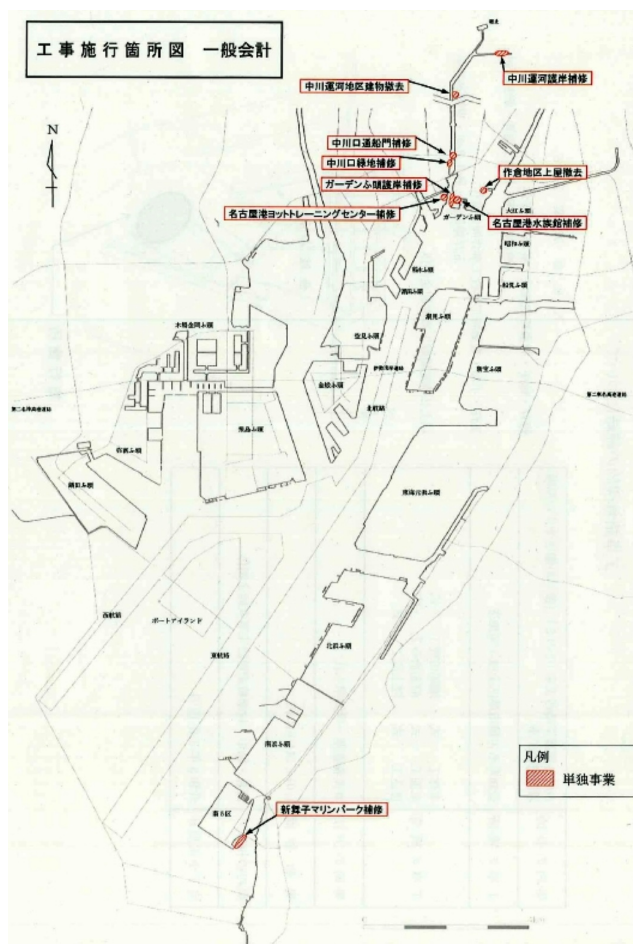
議案名	名古屋市区選出					県議会選出			結果	概要
	共	自	民	公	減	自	新	公		
2019年度名古屋港管理組合一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	補正額6億900万円。繰越金4億4595万円、土地使用料2086万円、指定管理者納付金1億4218万円の歳入を：ガーデンふ頭西側護岸補修1億9190万円、中川運河護岸補修8650万円など施設補修費3億7851万円。マリンパークなどの補修費8830万円。指定管理者納付金は基金に繰出。
2019年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	補正額1億4420万円。一般会計からの繰入金と寄付金。各基金へ積立。
工事請負契約（金城ふ頭護岸築造工事（その2））	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	金城ふ頭埋立地先の護岸工事。本体内工、端部処理工、床掘工、前面捨石工、裏込工、控上部工の一式。事後審査型一般競争入札で10億1614万4910円で徳倉・鈴中・村瀬特定建設工事共同企業体に。工期2021年3月19日
2018年度名古屋港管理組合決算認定案	閉会中審査									一般会計歳入歳出決算など4会計の決算。

○＝賛成 ●＝反対 / 共：日本共産党 自：自民党 民：名古屋民主 公：公明党 減：減税日本ナゴヤ 新：新生あいち



金城ふ頭の
工事箇所

【中継録画の様子】
上から、演壇、自席、
理事者席での答弁の
様子。



名港管理組合のホームページ内に開設された名港議会のリンクボタン。開けば日程や議案、リアルタイムではないですが、中継録画や議事録が見れるようになりました。



名古屋港管理組合議会11月定例会 一般質問 (11月13日)

巨大台風からコンテナや車の流出をどう防ぐか／情報センターの効果的な活用で防災対策などのPRを

江上博之議員



伊勢湾台風被害から学ぶ

空コンテナの流出、モータープールでの自動車流出に対する対策と日常的な対応はどうか

【江上議員】伊勢湾台風から60年の年、災害に強く、地域に親しまれる名古屋港になるように願ひ質問します。

今年は、台風15号、19号、そして、21号に伴う被害で、全国で100人近い方が亡くなりました。深くご冥福を祈ります。そして、多くの被災者、被害が出ています。お見舞い申し上げます。この地域では直接の被害はないと思いますが、伊勢湾台風から60年の年。改めて、災害に強い港をどう作るか考えたいと思います。

名古屋に住んでいて60年たっても必ず出てくる災害が伊勢湾台風です。わたくしごとですが、当時4歳でした。父親が南区の合板会社に勤めていて帰ってきませんでした。母が、雨戸をくぎで打ちつけていることを覚えています。幸い、水は床下で済みました。

当時のことを名古屋港管理組合30年史では、1959年9月26日、当時の台風15号について、次の

伊勢湾台風 (1959年9月26日)
による名古屋市の被害状況

人的被害	死者・行方不明者	1,851 人
	負傷者 (重傷)	1,619 人
	負傷者 (軽傷)	38,909 人
住家被害	全壊	6,166 棟
	半壊	43,249 棟
	流出	1,557 棟
	床上浸水	34,883 棟
	床下浸水	32,469 棟



南区浜田南公園にある伊勢湾台風殉難者慰霊之碑 (くつ塚)

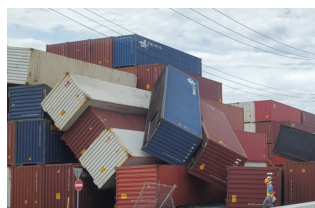
出典：伊勢湾台風災害誌

ように記述しています。

「名古屋市の西30キロメートルを通過した午後9時25分には、気圧は、954ミリバールとなり、名古屋港の瞬間最大風速は50.2mを記録した。10分後の9時35分台風に伴う高潮は伊勢湾の満潮時と重なったので、名古屋港基準面上5.31mという大高潮（過去の最大は大正10年9月26日4.38m）となった。これは異常高3.55mであった。このため河川堤防の決壊と高潮により、臨港地帯の港湾施設や名古屋市南部一帯は海水が侵入し、開港以来の大災害を被った。」「伊勢湾台風の異常高潮と波圧により、貯木場から多数の木材が流出し、市の南部一帯におびただしい損害を与え、多くの人命を奪った。」（名古屋港管理組合30年史）

伊勢湾台風を受け被害への対策として、大きく二つの事業が行われました。一つは、高潮防波堤の築造です。最近も改修が行われかさ上げもされています。もう一つは、木材流出を受け、木材港を設置しました。伊勢湾台風からの教訓は受け継がれています。それに加え、昨年のお阪湾港湾の台風被害で、空コンテナの流出、モータープールでの自動車流出事故等を受け、改めて点検し、ハード面の対策は万全と判断しているようです。今年になって、台風の来襲で、横浜港などで、空コンテナ流出や、中古自動車の流出事故がありました。新たな問題に対応が求められています。

空コンテナ流出や、モータープールでの自動車流出に対してどのような対策を取っているのでしょうか。



9月9日の台風15号で、コンテナが崩壊した横浜港南本牧ふ頭



横浜港南本牧ふ頭での自動車の被害 (神奈川新聞より)

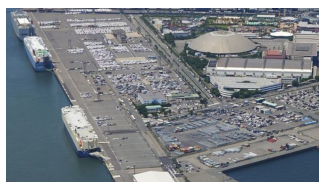
地形や現行対策からコンテナターミナルでのハード対策は不要、モータープールでは流出防止策を設置する

【危機管理監】 昨年の台風21号による大阪湾港湾での被害を受け、高潮の対策目標潮位を、伊勢湾台風級の高潮を踏まえ、名古屋港基準面（N.P）プラス6.0メートルと設定して検証を行いました。

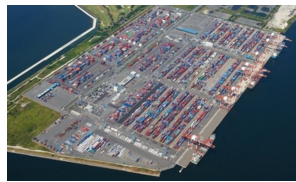
空コンテナの流出について各コンテナターミナルの検証を行った結果、コンテナターミナルにおいては、岸壁から背後に向かって勾配をつけて地盤が高くなっていること、また、台風襲来時にはターミナル事業者が事前対策としてコンテナの移動や固縛措置を行うことから、ハード対策は不要であることを確認している。

モータープールでの自動車の流出については、地盤高や周辺の状況などを考慮して検証を行った結果を踏まえ、今年度、金城ふ頭、空見ふ頭及び弥富ふ頭の一部モータープール外周部に、海上への自動車の流出を防護する柵を設置します。

本年10月に接近した台風19号の際には、事業者の要望を踏まえ、金城ふ頭の荷さばき地に蔵置していた自動車を立体式の名古屋市営金城ふ頭駐車場に移動できるよう名古屋市と調整を図り、安全な移動場所を緊急的に確保した。



自動車積み出しの金城ふ頭



弥富ふ頭コンテナターミナル

集約における災害対策について

【江上議員】 事前に避難する対策も必要です。モータープールについて、公共ふ頭の金城ふ頭と弥富ふ頭の二か所から一か所に集約しようという動きもあるようですが、ある程度分散しておくことも災害対応には必要でないでしょうか。

施設に応じた安全対策を講じ、物流の効率化との両立を図る

【危機管理監】 完成自動車の輸出入は、金城ふ頭と弥富ふ頭に公共ふ頭を配置し取扱っているが、自動車専用船の大型化への対応など取扱機能の強

化・効率化を図るため、金城ふ頭西側に集約・拠点化を進めている。

供用にあたっては必要な検証を行ったうえ、自動車の流出防止など、施設に応じた安全対策を講じ、物流の効率化との両立をしっかりと図っていく。

災害時に向けての事前の準備、訓練などが必要ではないか

【江上議員】 空コンテナやモータープール内の自動車流出を防ぐために、災害時に向けての事前の準備、訓練などが必要でないかと考えます。民間の事業ですが、港湾管理者として何を行うか、見解を求めます。

「フェーズ別高潮・暴風対応計画」を進めている。訓練も検討する

【危機管理監】 事業者において、コンテナターミナルでの固縛措置などの事前対策、自動車は安全な場所への移動などの事前対策を実施している。

本組合は、事前の準備として、台風の接近に際し、関係者が迅速かつ円滑な防災行動を効果的・効率的に行うための判断の参考として活用できるよう、想定される標準的な防災行動をあらかじめ時系列的に整理した「フェーズ別高潮・暴風対応計画」について、コンテナ及び完成自動車に係る計画の取りまとめを、本年度を目途に進めている。今後、台風に備えて確実な事前対策が行えるよう、必要な訓練などについて検討します。

「フェーズ別高潮・暴風対応計画」の策定時期は。訓練は（再質問）

【江上議員】 昨年の台風21号による大阪湾港湾での被害を受け、対策が取られていることはわかりました。その教訓から対策が取られていたと思いますが、今年、台風15号の来襲で、東京港や横浜港で、空コンテナの倒壊や中古自動車の被害が報じられています。対策の速やかな対応が必要です。回答で、「フェーズ別高潮・暴風対応計画」の取りまとめを本年度を目途に進める、としています。全国の教訓から、少しでも早く、対策、計画の取りまとめ、計画の徹底をすべきです。

そこで、質問します。この計画は、本年度中に

策定ということでもいいですか。また、台風だけでなく、地震による津波、豪雨などもあり得ますが、伊勢湾台風の教訓を踏まえた必要な訓練について、特に検討を急ぐ必要があるのではないのでしょうか。

計画は本年度中に策定、 訓練は台風時に合わせ検討する

【危機管理監】「フェーズ別高潮・暴風対応計画」は、コンテナ及び完成自動車に係る計画を、本年度中に策定する。

台風に備えた訓練は、内容や実施方法、実施時期などについて、コンテナターミナルや完成自動車に係る事業者など、関係者との協議や連携を図り、来期の台風シーズンを目標に検討を進めたい。

市民、県民に親しまれる 情報センターのあり方について

伊勢湾台風を忘れない催しにあたり どのような検討を行ったか

【江上議員】7月22日から9月27日まで伊勢湾台風を特集した展示が行われていた情報センターについて質問します。

私も展示を拝見しましたが、貴重な資料の展示もあり大切な催しでした。地下鉄の名古屋港駅からも近い場所ですから、多くの入場者が期待されました。しかし、場所がわかりにくく、お知らせも不足していたのではないのでしょうか。伊勢湾台風から60年、愛知県民にとっても、名古屋市民に

12階：議長室・副議長室・議員控室・談話室・傍聴席・議会事務局（議事課）	
11階：議場・第1委員会室・第2委員会室・監査委員事務局（監査課）	
10階：建設部（管理課・総合開発課・技術管理課・工事課）・入札室	
9階：企画調整室（調整担当・企画担当・統計センター・計画担当・環境担当）・建設部（事業推進課）	
8階：管理者室・副管理者室・総務部（総務課・財政課）	
7階：総務部（行政管理課・職員課）・職員研修室・港営部（関連事業室）	
6階：総務部（危機管理課）・災害対策本部室・名古屋港情報センター・資料室	
5階：港営部（港営課・誘致推進課・管財課・海務課）	
4階：総務部（会計課）・食堂	
2階：出入口・エントランスホール	
1階：駐車場・守衛室	

港湾会館と名古屋港管理組合。
6階に情報センター
11・12階に議会がある。

港湾会館と名古屋港管理組合。
6階に情報センター
11・12階に議会がある。

とって、南海・東南海地震が予想され、台風来襲も多い時ですから、管理組合としても、多くの方に来場していただき、伊勢湾台風を振り返り、今後の教訓を学ぶ貴重な機会とすべきであったと思いますが、評価はどうでしょうか。



そこで、質問します。伊勢湾台風60年の催しの内容から言うともっと場所も含めて検討が必要でなかったかと考えますが、どのような検討がなされたのでしょうか。

大きな被害を被った名古屋港の港湾 管理者として、様々な企画を実施

【総務部長】伊勢湾台風による被災60年の節目を迎えた本年、大きな被害を被った名古屋港の港湾管理者として、様々な企画を実施した。一般の方を対象とした「みなと防災体験ツアー2019」を初めて開催したほか、本組合提供番組「What's名古屋港」では伊勢湾台風を特集し、テレビ放送した。また、名古屋みなと振興財団が名古屋海洋博物館にて「伊勢湾台風60年企画展 古地図から学ぶ尾張の歴史 名古屋港から防災を考える」を開催し好評を博したほか、地下鉄名古屋港駅における名古屋市交通局の水防訓練と連携した防潮扉の閉鎖訓練を見学していただきながら実施した。外郭団体や他自治体とも連携を図りながら、様々な場所で、持ち得る素材、手段を最大限に活用し、県民市民の皆様に向けた情報発信を行った。

企画展示「伊勢湾台風を振り返って」は、同時期に開催した名古屋海洋博物館での企画展との相互周知が図れる本庁舎を展示場所とし、当時の被災状況や復興の様子を情報センターに保存している資料で振り返ることができるよう、6階情報センターでの資料展示、写真展示とともに、2階エントランスの情報コーナーも活用し、名古屋港の防災対策などのパネル展示を行った。



ポートビル
3・4階に海洋博物館。

防災の観点は皆様に

とって、重要かつ関心の高いテーマですので、情報センターも含め様々な手段を活用しながら情報発信に努める。

なぜ情報センターを今の場所にしたのか

【江上議員】そもそも情報センターは、情報公開、情報を求める人たちにとってもわかりやすい場所であることが必要です。以前の建物では、1階ロビーがそんな場所になっていたのではないかと思います。21世紀は、情報を求められてから出すのではなく、積極的に情報発信することが「市民に親しまれる港づくり」としても求められています。建て替えにあたり検討のうえで今の位置になったと思いますが、今、情報センターに求められている「市民に分かりやすく情報に接しやすいこと」から言えば情報から市民を遠ざけているのではないかと感じました。

そこで、質問します。今の位置に情報センターを設置した理由を示してください。

合理的な配置を検討した結果だ

【総務部長】現本組合庁舎は2010年に完成、貸会議室機能を中心とした名古屋港湾会館との合築になっている。建物内のフロア構成は、議会庁舎建設特別委員会でも議論したが、基本的な考え方としてエントランスは2階とし、2階の一部から4

階の一部までの低層階に港湾会館を配置、4階以上の12階までを本庁舎執務室とした。

本庁舎執務室のフロア構成は、外来者が多い総務部の会計課と港営部を5階までの低層に配置し来庁者の利便性に配慮した上で、11階と12階に議会と監査、その他の階に各部署を配置した。その中で、各部室の纏わり等の合理的な配置を検討し、情報センターは、大きな面積を要する書庫と一体的に管理する必要があること等から6階に配置することになった。

なぜ2階に設置できないのか

【江上議員】市民に親しまれるためには、2階ロビーが適所だと思います。なぜ、設置できないのか理由を明らかにしてください。そして、難しければ、情報センターに行きやすくする対策を示してください。

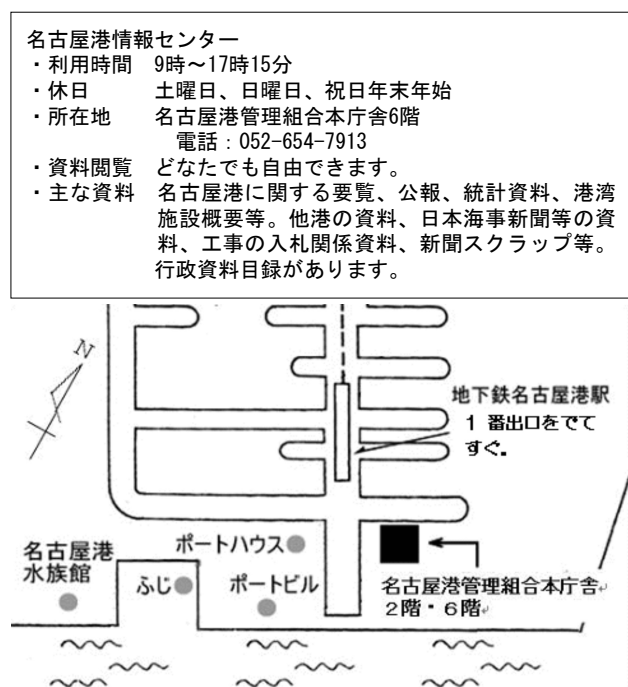
限られたスペースを有効に活用

【総務部長】2階ロビーは、本庁舎と港湾会館共用のエントランスであり、必要な機能として受付、喫茶コーナー、待ち合いコーナー等を設置し、限られたスペースを有効に活用している。

6階情報センターへ行きやすくする対策としては、2階エントランスの一角に情報コーナーを設置し、パンフレット類の配布と共に、6階情報センターの案内を当初から行っているが、案内看板の増設やホームページでの分かりやすい紹介などを検討したい。

来場者の差をどう評価しているのか (再質問)

【江上議員】伊勢湾台風60年を期して様々な取り組みが行われていることはわかりました。本組合本庁舎での企画は、海洋博物館での企画と「相互周知」を図ることをめざしていたようです。ただ、来場者は、海洋博物館とは大きな差があるようです。具体的にそれぞれどのくらいの来場者数であったのか。そして、本庁舎企画の目標としての来場者数であった、と判断しているのか。今後の企画への教訓として何を考えているのかお答えください。



施設としての認知度の差が来場者数の差につながった

【総務部長】それぞれの企画展の期間中の来場者数は、名古屋海洋博物館での企画展「古地図から学ぶ尾張の歴史 名古屋港から防災を考える」は、名古屋海洋博物館の入場者として36,009名、本庁舎情報センターでの企画展「伊勢湾台風を振り返って」は、121名でした。相互告知での効果も期待したが、満足できる結果ではないと認識をしている。

入場者数の差は、名古屋海洋博物館が認知度のある博物館施設であるのに対し、情報センターは、行政資料の閲覧を主な目的としていることから、施設としての認知度の差が来場者数の差につながった。

また、催しの事前告知の期間が十分でなかった点も反省点としてある。

今後の対応としては、案内看板の増設やホームページでの分かりやすい紹介など、情報センターの認知度向上を第一に取り組む。

情報センターは、貴重な資料が保存された、どなたでも自由にご覧いただける施設です。多くの皆様に足を運んでいただくことで港湾行政への理解が一層深まるものと考えており、今後も適切な情報発信に努める。

災害に対する対策のみならず、地球環境温暖化対策やCO₂削減など低炭素社会をめざすことを求める（意見）

【江上議員】伊勢湾台風60年の企画で展示された資料は貴重ですので、これからも機会を見て公開してください。

自然災害に対する対応について質問しました。最後に、今回の台風19号では、太平洋の水温が2度、3度高くなっていて、地球環境温暖化問題が大きいといわれています。災害に対する対策のみならず、地球環境温暖化対策にも力を入れること、CO₂削減をはじめ一層低炭素社会をめざすことを求めて質問を終わります。

11月12日 中日新聞

風力2号機が再稼働

2年10カ月ぶり
新舞子の発電所

部品の故障により二〇一七年一月から停止していた、新舞子マリナーパーク（知多市）内の風力発電所の発電施設一基が十一日、二年十カ月ぶりに再稼働した。



稼働が再開された風力発電所2号機。知多市の新舞子マリナーパークで

管理する名古屋港管理組

合（名古屋港区）によると、施設は二基あり、風車の高さが六十五メートル、ブレード（羽根）の直径五十二メートルで、〇五年一月に稼働を始めた。このうち二号機で、ブレードの動きを発電機に伝えるギアボックスが故障していた。再稼働により年間二基合わせて、一般家庭約五百世帯の消費電力量に相当する約二百二十万キロワット時を発電する。

再稼働を受け、同組合管理者の大村秀章知事は「多くの県民が集う新舞子マリナーパークの象徴となるとともに、名古屋港の再生可能エネルギー設備の先導的役割を今後も担っていく」とのコメントを発表した。

知多市の宮島寿男市長も十一日の定例会見で「市民にとって新舞子マリナーパークはなくてはならない景観上のシンボルマーク。二つ動くことで、市民も喜んでくれると思う」と話した。（白名正和、福本英司）